

✉ 厚生病院だより

すずかけ



第28号 平成19年9月1日 発行/鳥取県立厚生病院 編集/院内広報誌係



厚生病院の基本理念

思いやりと優しさ、真心のこもった信頼される病院
優れた医療を提供し、地域と密着した病院
職員の和を尊び、働きがいのある病院

～外来・中央診療棟が完成～

当院は、昭和38年に中部厚生農協連病院を引き継ぎ県立病院として開設して以来、県中部の基幹病院として救急医療・周産期医療の中核的病院としての役割を担って参りました。しかしながら、築後40年を経過した外来診療部門や検査部門の老朽化が著しく、いかにリニューアルしていくかが懸案でありました。関係者・職員の意見を何度も聞きながら改築計画をまとめ、ようやく、平成17年11月より改築工事に取っかかり、この度、新外来・中央診療棟として完成、5月から診療・検査・手術等を開始することができました。建物は鉄骨一部鉄筋コンクリート造、免震構造を採用し、7階建て地下1階建て、延面積111,152平方メートルとなっています。1階と2階が外来診療・検査部門、3階が手術・透視部門、4階が管理部門、5階が食堂・会議室、6階には感染症病棟、屋上にはヘリコプターの場外離着陸場を設置しています。総事業費は、平成19年度の病棟改修も含め約55億5千万円を予定しています。

現在は、ナースステーション・リハビリテーション室・新生児室・集中治療室の改修を順次行っており来年5月までには、旧本館解体・駐車場整備を終えグランドオープンを迎える予定です。工事完成後は、第1種感染症指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点等に指定された中部医療圏の中核病院にふさわしい機能を備えることができ、中部住民の皆様によりよい環境で医療の提供ができることとなります。来年5月までは、病棟を中心に改修工事が続き、患者様にはご迷惑をおかけすると思えますし、職員の方々も工事が進む中での治療・看護となりご苦労をかけると思えますが、今しばらくご協力をお願いします。

(院長 藤井 昭)

総合医療情報システム

電子カルテを中心とした総合医療情報システムを平成19年5月1日から稼動しました。従来、カルテは紙のものに医師が直接記入していましたが、電子カルテはそれをすべて電子化（コンピュータによる入力）し、保存できるシステムです。そのことにより、患者様が自分のカルテ、診断の画像検査の結果等を画面上から見られるようになりました。

電子カルテシステムは、患者様への直接的なメリットとして次のようなことがあります。

- カルテや看護記録及び検査結果などの医療情報を一元化・共有化することにより、医療の質や安全性の向上
- 患者様本人と、実際に投与する医薬品・注射・血液コードの読み取りマッチングによる医療ミスの防止
- インフォームド・コンセントの充実などによる安心・安全な医療サービスの提供
- 医師が、診察時に患者様に対して、パソコン画面により症状（検査結果等）をわかりやすく説明できるように、患者様との信頼関係の向上
- 看護師がパソコンをベッドサイドまで持参することにより、ベッドサイドにおいて患者様に対し、治療の経過等の情報提供が可能となり患者様の安心度の増加
- 患者様の診療情報は、医事会計システムと連

携し管理されますので、迅速で効率的な会計処理が可能

●現時点では、職員の操作が不慣れな点から患者様にご迷惑をおかけする場面もあろうかと思えます。職員一同、患者様にとってわかりやすい医療を提供できるように日々努力をいたしております。今後とも、御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。



◆病院改修工事について◆

現在、平成20年5月のグラウンドオープンに向けて病院改修工事を進めています。1階から7階の改修工事については、11月下旬を目途に完成を予定しています。また北側玄関の新設工事については11月中旬より工事を開始し、2月下旬に完成の予定です。なお、現在の病棟・本館の解体については9月より工事に取っかかり、2月下旬には取り壊しを完了する予定です。患者様・御来院の方々には、工事期間中大変ご迷惑をおかけすることとなりますが、なにとぞよろしくお願いいたします。

(管財課 杉本)

厚生病院改修工事工程表

工事エリア	9月	10月	11月	12月	1月	2月
解体工事	本館等解体					
病室エリア	各階改修					
北側玄関			新設工事			

新任紹介

③ ② ①
出身地 抱負 名前

内科医師



① 山本 了
② よろしくお願
③ 倉吉市

内科医師



① 藤瀬 幸
② よろしくお願
③ 境港市

神経内科医師



① 甲斐 太
② 一人診療科となり
③ 大口市

外科医師



① 浜崎 尚文
② 外科に勤務します。
③ 倉吉市

整形外科医師



① 橋本 達宏
② 早くこの病院の雰
③ 鳥取市

脳神経外科医師



① 山下 圭一
② よろしくお願
③ 鳥取市

放射線科医師



① 矢野 晋作
② 一見無愛想に見え
③ 境港市

退職・異動大変お疲れ様でした

医師

中川 ふみ (小児科) ↓鳥大
 深田 育代 (神経内科) ↓鳥大
 竹内 啓九 (脳外科) ↓退職
 森 望美 (神経内科) ↓退職
 廣恵 亨 (外科) ↓退職
 柿手 卓 (放射線科) ↓鳥大
 松岡 宏至 (内科) ↓鳥大
 楠本 智章 (内科) ↓鳥大
 野中 道子 (産婦人科) ↓鳥大

看護局 (退職者のみ)

村上かより (2階病棟)
 杉本さゆり (5階病棟)
 前田 啓子 (外来)
 田中伊豆美 (3階病棟)
 福井貴己子 (5階病棟)
 徳田 恵子 (内科外来)
 南 みさ子 (3階病棟)
 中田 光江 (眼科外来)
 森本美知子 (内科外来)
 野崎 章子 (透析室)
 菅沼田美子 (3階病棟)
 松田 伸子 (放射線外来)
 中井美喜子 (3階病棟)
 網本 千幸 (6階病棟)
 野口 鈴加 (6階病棟)
 山本 節 (6階病棟)
 伊東 良枝 (透析室)
 中川 恭子 (5階病棟)
 田川 翠 (外科外来)
 河田 峰子 (内視鏡室)
 藤井真奈美 (6階病棟)

医療技師局 (退職者のみ)
 飯田 義憲 (中央検査室)

糖尿病教室

外来患者さん対象に、糖尿病教室を開催することになりました。(入院患者さんはもちろん大歓迎です。)

毎週火曜日の午後から1~2時間、4回/月で終了します。同じ内容を繰り返しますので、都合のよいときに気軽に参加してみてください。

※ 参加の申し込みは、内科外来へ
(月~金 14:00~17:00)
TEL (0858) 22-8181



《プログラム》

	内 容 (14:00~15:00)	内 容 (15:00~16:00)
第1週	糖尿病とは (医師)	食事について【基礎編】 (栄養士)
第2週	三大合併症 “しめじ” の予防	検査について (臨床検査技師)
第3週	食事について【応用編】 (栄養士)	生活習慣について (看護師)
第4週	糖尿病と運動の話 (理学療法士)	糖尿病と薬の話 (薬剤師)

《場所》 総合健診センター (2階) 当日は、午後1時30分から受付



女性マンモグラフィー 撮影技師の誕生

マンモグラフィーとは乳がんの早期発見の新兵器として期待されている乳房エックス線撮影装置による写真のことです。マンモグラフィー検査は視触診ではわからない「しこり」や「小さな石灰化」を画像でとらえ診断を行うものです。現在、女性でがんにかかる病気のトップは乳がんで、4、50歳代に多いのが特徴です。以前から、「マンモグラフィー撮影は女性技師にとっ てほしい」という要望も強くあり、このたび採用することができました。女性スタッフによる撮影を推進しておりますので、どうぞ気軽にご利用ください。

(放射線室 吉田)

あ と が き

平成20年5月のグラウンドオープンに向けて、工事も急ピッチで進んでいます。今号より、編集委員のメンバーも一部変わり、慣れない作業で戸惑うこともありましたが、これからは院内の情報・役立つ情報をお知らせしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

(総務企画課 高田)

編集委員

- 医療局 深田 民
- 医療局 山本 芳
- 医療技術局 前田 め
- 看護局 田中 容
- 看護局 福田 千
- 事務局 國米
- 事務局 高田

